

浦添大公園南エントランス管理事務所設計競技入選作品 個別講評

(最優秀賞)

- ・ N018 おね線をずらした赤瓦屋根
金城 春野 (ファイブ ディメンジョン一級建築士事務所)

- ・ 浦添市の景観形成重点地区という厳しい制約条件の中で、これまでの赤瓦屋根建築に対してデザイン手法の新たな基軸を提案し、伝統と現代の融合を優れた造形にまとめた意欲的な作品として高く評価される。

(優秀賞)

- ・ N021 白い森の休憩所
吉岡 雄一郎 (アトリエ・ネロ)

- ・ この地区の景観形成基準には屋上緑化という概念は記載されていない。しかし、効果的に屋上緑化を施したこの作品は、十分修景しようという意欲が感じられる。また、大公園が目の前に迫る中で公園利用者をどのよう導くかを考えると、このような作品があってもかまわないのではないか。

- ・ N024 古都へのいざない
翁長 朝順、宮城 江利奈 ((株)渡久山設計)

- ・ 今回の提案書の中で、もっとも景観に配慮されていると評価される。赤瓦と屋上緑化を上手に配置し、右側の1号園路や公園側からの見え方にも十分配慮された作品である。

(佳作)

- ・ N011 ウラオソイの門
比嘉 実美 (株式会社 二基設計)

- ・ 正面ファサードに特徴が有り、シンボル性が高い。また、左側の1号園路見ると開放的で優れた作品である。ただし、右側の住宅地からの景観に配慮が必要である。

・ N017 “ウラオソイ” 門”

仲本 昌司、中園 光浩（有限会社 アトリエ・門口）

- ・ 材料に赤瓦屋根や木を多用し、景観形成基準という制約を解決している作品である。新しい造形感覚を取り入れながらも、平面計画も明快でオープンであり、安全性にも優れているのではないかと評価できる。ただし、実際に赤瓦屋根を葺いた場合の屋根勾配の検討など課題が残る。